

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公表番号】特表 2013-526979 (P2013-526979A)

【公表日】平成 25 年 6 月 27 日 (2013.6.27)

【年通号数】公開・登録公報 2013-034

【出願番号】特願 2013-512604 (P2013-512604)

【国際特許分類】

A 6 3 B 23/035 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 23/035 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 8 日 (2014.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の端部、およびユーザの一方または両方の肩に当接するように構成された第 2 の端部を有するアームアセンブリと、

アームアセンブリを支持するように構成された支持構造体であって、アームアセンブリが、支持構造体に連結され、支持構造体から外側に延び、支持構造体に対して水平方向および垂直方向に同時に移動できるように構成された支持構造体と、

アームアセンブリに連結された第 1 の端部、および支持構造体に連結された第 2 の端部を有する弾性負荷デバイスと、

アームアセンブリの長さに沿って移動可能な張力調整部とを備え、

アームアセンブリが与える負荷を調整できるように、弾性負荷デバイスの第 1 の端部が張力調整部に連結され、

張力調整部はラチェット機構を有し、ラチェット機構は張力調整部をアームアセンブリの長さに沿って移動させ、これに沿った所定位置に固定させるように構成されたことを特徴とするエクササイズマシン。

【請求項 2】

第 1 の端部、およびユーザの一方または両方の肩に当接するように構成された第 2 の端部を有するアームアセンブリと、

アームアセンブリを支持するように構成された支持構造体であって、アームアセンブリが、支持構造体に連結され、支持構造体から外側に延び、支持構造体に対して水平方向および垂直方向に同時に移動できるように構成された支持構造体と、

アームアセンブリに連結された第 1 の端部、および支持構造体に連結された第 2 の端部を有する弾性負荷デバイスと、

アームアセンブリの第 2 の端部に設けられた、ユーザの一方または両方の肩に当接するように構成された 1 つまたはそれ以上のパッドと、

アームアセンブリの第 2 の端部に設けられた、1 つまたはそれ以上のパッドの水平方向の移動を規制するように構成された 1 つまたはそれ以上の範囲リミッタとを備え、

1 つまたはそれ以上のパッドは、アームアセンブリの第 2 の端部に回転可能に取り付けられていることを特徴とするエクササイズマシン。

【請求項 3】

エクササイズマシンであって、

第 1 の端部と、第 2 の端部に設けられた、ユーザに下向きの負荷を与えるように構成された 1 つまたはそれ以上のユーザ当接パッドとを有するピボットアームと、

エクササイズマシンを安定させるように構成された支持構造体であって、ピボットアームが、支持構造体から外側に延び、支持構造体により所定の高さ位置に保持され、支持構造体に対して水平方向および垂直方向に同時に移動できるように構成された支持構造体と

、
アームアセンブリを所定位置に固定するために係合し、ピボットアームを解放するために係合を解除するように構成された固定機構とを備え、

固定機構は、ピボットアームに連結された固定部と、支持構造体に連結された係止部とを有し、

係止部は、ピボットアームの上方への移動を可能にする開口頂部を有することを特徴とするエクササイズマシン。

【請求項 4】

方向可変マシンでユーザをトレーニングする方法であって、

ユーザの上半身の一部にピボットアームの当接端部を当接させるステップと、

ピボットアームが、方向可変マシンの支持構造体に連結され、支持構造体から外側に延び、支持構造体により所定の高さ位置に保持され、支持構造体に対して水平方向および垂直方向に同時に移動できるように構成され、

上半身を前方向および後方向に移動させることなく、上半身に加えた負荷に耐えながら膝を曲げることにより上半身を下方位置に下げるステップと、

上半身を下方位置に下げるステップは、ピボットアームを垂直方向に回転させ、

上半身を前方向および後方向に移動させることなく、上半身に加えた負荷に打ち克つように膝および腰を伸ばすことにより上半身を上方位置に上げるステップと、

上半身を上方位置に上げるステップは、ピボットアームを垂直方向に回転させ、

第 1 の足を水平方向へ踏み込むステップと、

上半身を下げながら水平方向に移動するステップとを有し、

水平方向に移動するステップは、ピボットアームを水平方向に回転させることを特徴とする方法。

【請求項 5】

上半身を上げながら水平方向に移動するステップを有し、

水平方向に移動するステップは、ピボットアームを水平方向に回転させることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

第 1 および第 2 の足が接近するように、第 2 の足を第 1 の足の方へ移動させるステップを有することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

1 回または複数回、上半身を下げながら第 1 の水平方向に移動させるステップと、

1 回または複数回、上半身を下げながら第 2 の水平方向に移動させるステップと、

第 1 および第 2 の水平方向に移動させるステップは、ピボットアームを第 1 および第 2 の水平方向に回転させることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

ピボットアームを解放するために、ピボットアームの固定機構の係合を解除するステップを有することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 9】

ピボットアームの長さに沿って張力調整部を移動させることにより、負荷を調整するステップを有し、

負荷は、張力調整部に取り付けられた負荷デバイスにより与えられることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 10】

アームアセンブリの第 1 の端部にピボットを有し、
アームアセンブリは、ピボットで支持構造体に連結され、
ピボットは、アームアセンブリが支持構造体に対して複数の水平方向および垂直方向に
移動できるように構成されたことを特徴とする請求項 1 に記載のエクササイズマシン。

【請求項 1 1】

ピボットアームに連結された第 1 の端部、および支持構造体に連結された第 2 の端部を
有する弾性負荷デバイスを有することを特徴とする請求項 3 に記載のエクササイズマシン

。

【請求項 1 2】

ピボットアームに沿って移動可能な張力調整部を有し、
張力調整部が与える張力を調整できるように、弾性負荷デバイスの第 1 の端部が張力調
整部に連結されることを特徴とする請求項 1 1 に記載のエクササイズマシン。

【請求項 1 3】

1 つまたはそれ以上のユーザ当接パッドは、これがユーザに対して回転し、ユーザの上
半身に当接可能にするピボットを有することを特徴とする請求項 3 に記載のエクササイズ
マシン。

【請求項 1 4】

ピボットアームの当接端部に設けられた 1 つまたはそれ以上の回転パッドを有し、
1 つまたはそれ以上の回転パッドは、ユーザの上半身に当接し、水平方向の回転が規制
されるように構成されたことを特徴とする請求項 3 に記載のエクササイズマシン。